

日本労働社会学会において会員の研究成果を口頭発表する場として、労働社会学会大会（年1回）と研究例会（年4回）があります。それぞれ次のような特徴がありますので、目的に合わせて上手に使い分け、大いに活用してください。また、大会・研究例会は会員であればどなたでも参加できます。発表でなくてもぜひご参加ください。

〈研究例会〉

- 開催時期 : 7月、9月、12月、3月、(いずれも上旬)の年4回
(9月の例会はシンポジウム準備研究会となり、研究発表の募集がないこともあります)
- 会場 : 東京都内もしくは近郊の大学
- 発表者数 : 1人～2人
- 参加者数 : 8人～15人程度
- 発表時間 : 発表・質疑応答時間合わせて70～90分程度。時間に余裕があれば延長も。

研究例会は、発表・質疑時間が長く取れるのが特徴で、そのうえ小さな会場で少人数ですので、親密な雰囲気の中で突っ込んだ議論が可能です。特に若い方たちには、自身の指導教員のそれとはまた異なる多くの視点・視角からの意見やアドバイスが得られ、研究を進めるうえできっと役に立つはずです。

〈大会発表（自由論題報告）〉

- 開催時期 : 10月中旬～11月下旬のいずれかの土曜・日曜（2日間）。自由論題報告は通常は土曜に開催されてきました。
- 会場 : 1年ごとに、東京都内もしくは近郊の大学とそれ以外地域の大学が交互に会場になります。
- 発表者数 : 近年は7人～9人です。
- 参加者数 : 50人～60人程度
- 発表時間 : 発表・質疑応答時間合わせて30～45分程度。発表者数によって変化します。

大会での自由論題報告は、報告・質疑時間が長く取れないのが残念ですが、特に若い方にとっては、多くの参加者に、発表者とその研究内容を知ってもらう貴重な機会となります。また、「大会発表」として業績リストに載せることもできます。

それぞれについての発表者募集時期、応募締め切り等については、次頁の表をご覧ください。

労働社会学会大会自由論題報告・研究例会 研究発表者募集スケジュール

定例的スケジュール			21期(今期)の場合
12月研究例会	発表者募集期間 研究例会 例会報告提出	9月下旬～10月上旬 12月上旬(第1土曜) 12月中旬～下旬	すでに終了
3月研究例会	発表者募集期間 研究例会 例会報告提出	1月初旬～2月上旬 3月上旬(第1土曜) 3月中旬～下旬	すでに終了
7月研究例会	発表者募集期間 研究例会 例会報告提出	4月上旬～6月上旬 7月上旬(第1土曜) 7月中旬～下旬	6月8日(月)締切 7月4日 7月20日頃締切
9月研究例会*	発表者募集期間 研究例会 例会報告提出	6月下旬～8月上旬 9月上旬(第1土曜) 9月中旬～下旬	シンポ準備研究会 とするため報告者 募集はありません
大会(自由論題報告)	報告者募集 大会資料集用原稿提出 労働社会学会大会	6月中旬～8月末 大会の1ヶ月前 10月中旬～11月下旬	8月末締切 10月20日頃締切 11月21日・22日

* 9月研究例会は大会シンポジウム準備研究会に変更されることがあります。
その場合、例会報告の募集はありません。